

# ドラマセラピー・アドバンス・トレーニング 受講生からのメッセージ

ドラマセラピー・アドバンス・トレーニングとは？

関東で1期、2期、3期、 関西で1期を終了しました。

1. 監督的な立場でクライアントを導く技法の一つであるJ.L.モレノの「ソシオドラマ」

2. 自らが演じながらクライアントを導く技法の一つである尾上明代の「受容とミラーリングの即興ドラマ」

これらの対極的技法の違いを学び、各トレーニーが、尾上のスーパービジョンを受けながら毎回実践する中で、感覚を磨くことができるコースです。



それぞれ別のアドバンス・トレーニングの三つのグループからの熱いメッセージを皆さまにお送りします。

そして、セッションの様子の写真もご覧ください。

ドラマセラピー教育・研究センター事務局



作成日：2017年6月

発行者：ドラマセラピー教育・研究センター

連絡先：dtercen@yahoo.co.jp（事務局）

代表 尾上明代

立命館大学大学院教授

RDT(北米ドラマセラピー学会公認ドラマセラピスト)

BCT(北米ドラマセラピー学会認定トレーナー)



アドバンスを受ける方へ

○ 子どもに関わる仕事 人と関わる仕事の人は全員受けて欲しいトレーニングです。

自分をみつめなおし、相手のことを想う時間になります。

厳しいことも多いけれど、自分の人生が楽しくなります！

---

色んな事を皆んな抱えていて  
問題はそれぞれ違うんだけど  
自分の事のように感じるのだなと  
とて～ニングしながら感じました。  
色んな意味で、  
たくましくなれた気がします。

---

迷っていても しんどいと思っても  
最後まで続ければ見えるものがある 分かることがある。  
本当に大きな体験をしました。  
自分の行き方を見つめることができる1年間でした。  
まだまだ沢山続けたいです もっと学びたいです。

---

アドバンスを終えての思い  
やればやる程もっと学びたい  
気持ちが出てくる。  
ドラマは人間の本質をギュッと  
つかむ。  
自分の生活への気づきにつながる。  
自分にとって他者の存在の重要さ、  
大切さをダイレクトに学ぶことができ  
て本当にうれしく有難い。  
1月から始まったので、もうまた冬が来て  
1年血開く経つので感慨深い。  
ありがとうございました。

今まで気づかなかったこと 見えていなかった あるいは

見ようとしなかった自分が 見えてくる。 ———  
— 難しかった

けれど アドバンスはほんとうに学びになりました。  
グループだからこそその学び励みになって いつも次回が楽しみになって終わりました。

迷っていても 絶対受けたほうが良いと思います。  
先生 皆様 ほんとうに ありがとうございます  
た。

---

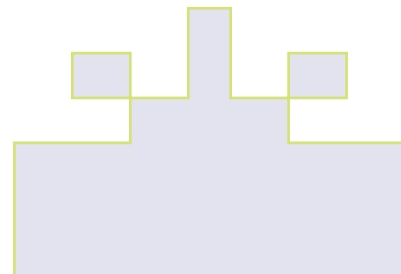
ドラマセラピー関西アドバンスに参加して  
エッセンシャルからアドバンスになってドラマセラピー  
のファシリテートをする事は、並大抵ではないと  
思いました。

ファシリテーターになるには  
自分のモチベーション、倫理感、知識、ありと  
あらゆる事が必要とされる。

その様な事が必要という事は、裏をかえせば、ドラマ  
セラピーにはありとあらゆる事に対処できる要素を  
もっていると言えると思いました。

どんな場面でも直視できる、対応できる発想力を養  
えるのはドラマセラピー以外にないと思えるほどで  
した。

ドラマセラピーを学ぶ事で、自分のフィールドや  
生活の場面にもち帰り、実践して自分も楽に生きて  
いきましょう。







これから受講生の人へ

Act for real

”演じることから日常へ”(ルネ・エムナーの本のタイトル)

ここでの学びはまさに日常へ持ち帰り、役立てることができる経験となりました。架空(枠囲い)

(ドラマモード)らなではのクリエイティビティー(枠囲い)

(私たちの中にまだ開かれていない)の戸開がひらきます!

それは自分の仕事、フィールドだけでなく、人生への気づきを与えてくれます。

そのような'まれな'セッションを多くの人に経験してほしいです。



☆ 『アドバンスコースはセラピストとして必要な内容が盛り込まれています。』

エッセンシャルコースよりもさらに厳しいですが、一つ一つの壁を越えて成長を感じられると思います。』

☆ この1年のアドバンスは、体験(エッセンシャル)で「へエ。。。」と思ったことを理論づけ、確認し味わい直す、極上のひとときでした。

試行錯誤を重ねて触れ得たものに日常が絡み合い、その気づきに日々支えられてきました。

場に委ねてグループと共に変容してゆくディレクターのあり方を、徹底して教わった気がします。

「美的な距離」を探りながら影響し合い、学び合うグループになってゆくプロセスを、満喫して下さい。





ドラマセラピーアドバンスに参加して

「ソシオドラマ」と「受容とミラーリングのドラマ」を学びます。私は特に受容とミラーリングで得るものが大きかったです。ここでの受容はセラピーの基本である傾聴の力を身につけるためのトレーニングとして最適と思われます。

そしてそれ以上に自身の心を見つめて磨いていくことができるようになります。是非ドラマセラピーをみなさんで学んでいきましょう。

---

エッセンシャル・アドバンストレーニングを通して参加しました。

あたたかいメンバーとあたたかい中にも厳しさ(筋の通っている)もある指導でセラピスト・ファシリテーターとしての Being を2年間通して学びました。

スキルも大切ですが、Being、”あり方” 倫理感 地に足のついた学び 本当に有難うございました。

---

人生を楽しくする{草、愛?}がいっぱい。

楽しいということ

嬉しいこと

悔しいこと、頭にくること

悲しいこと

そして

幸せということ

考えられるし 何より体感できる

それがDT

ずっとずっと学んでゆきます。

---

1年間にわたって学ぶこのコースは、ある意味で中途半端な甘えの気持ちを持って臨むと痛い目を見る事になるでしょう。

セラピー目的が主だったらおすすめはしませんが、「学ぶ」気持ちがあれば、極めて充実した自己成長を実感できるはず。知識、スキルだけでなく、人間としての成長実感を私は確かに得ることができました。

---







ソシオドラマでは、ディレクターとして分かりやすく的確にグループを引っばっていくこと、テーマを深める為のストーリー展開のアイデアを思い浮かべながらも、今起こっているドラマの瞬間を取らえる(捉える)ことなど、複雑ですが、とても刺激的でした。リーダーシップを取ることが苦手でしたが、鍛えられ抵抗がなくなってきました。

受容とミラーリングの即興ドラマでは、深刻にならず、リアルに考えすぎず、プレイフルにというのが、最初はとても難しかったけど、日を重ねることで、子供と心が通じた時の喜びを感じました。子供役としても、受容される経験は、自分自身の癒やしにもなりました。

エッセンシャルまで受けたなら、是非アドバンスも受講することをオススメします。RDTを目指さなかったとしても、人として成長でき、人としての器を広げられる場です。そして、フラットな関係で信頼し合える仲間との出会いも人生を豊かにしてくれます。

---

アドバンストレーニングは、ソシオドラマ付の日々…

受容とミラーリングの日々…

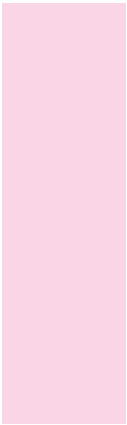
苦しくも楽しく、楽しくも苦しい。

でも、ドラマセラピーの極意がわかる！少しずつ力がつく…。

エッセンシャルの次は、みなさん、ぜひ！！

---





ドラマセラピーの主要な手法を学べます。「ソシオドラマ」では、参加者の関心に基づいて、社会的トピックスを一つ選びドラマ化します。「受容とミラーリング」では、母と子に扮して、コミュニケーション、心の交流を再現します。セラピー、教育、様々な現場に応用可能なこれらの手法のファシリテーション・メソッドを学んでみませんか？

---

自分を開き、深めながら第三者としての眼で観るといった体験をすることができました。子供の心(気持)に寄り添う練習では大きな気づきを得ることができました。ありがとうございました。

---

ドラマセラピー・アドバンス・トレーニング  
関東1期、2期、3期、 関西1期の受講生の皆さんからの  
メッセージでした！